

平成29年11月27日

報 告 書

島田市議会議長 様

島田市議会議員 清水 唯史

島田市議会議員 山本 孝夫

島田市議会議員 杉野 直樹

島田市議会議員 大村 泰史

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1 日時 平成29年11月18日（金）
午後7時00分～午後8時45分
- 2 会場 金谷公民館 みんなくる
- 3 参加者数 33人（男性31人、女性2人）
- 4 役割
 - (1) 受付 事務局
 - (2) 司会 山本
 - (3) 挨拶（概要） 清水
 - (4) 答弁 全員
 - (5) 記録 大村

5 報告事項

(1) 意見及び情報の交換について

●今回は試行的にテーマを二つに絞って実施した。

テーマ1 インター周辺の開発を含めた、今後の金谷について

Q インター周辺の開発について各議員の考え、取り組み状況はどうか。

(インター周辺の開発に伴う各議員のひらめきはどんなものか)

A 住民説明会資料をもとに、次の内容について概要説明した。

- ・農振農用地が除外された地域をゾーニングしての整備について
- ・産業活性化、生活環境保全、地区の玄関ゾーンについて
- ・用途地域、地区計画について
- ・物流・観光・商業等の拠点として期待される金谷地区
- ・住民の意見を聴きながら、秩序あるまちづくりを目指している。

考え方やひらめきについては、参加した議員個人の考え方であるため報告は省略する。

Q 企業誘致の状況及び時期的な目安はどうか。

A 住民説明会資料を基にスケジュールについて概要説明した。

- ・運営会社設立後、2019年の夏OPENを目指している。
- ・農協移転についてはバイパス整備の関係でタイムラグが出ている状況ではあるが予定どおりに進んでいる。
- ・企業誘致についての詳細は知らされていないが、当局側も営業に出向いており数社から話も来ているようだが、具体的な提示はされていない。

Q 集客目標数(140万人)の根拠は。団塊世代が高齢となり、車離れから集客が期待できないと考えるがどうか。

A 集客目標数の根拠は、掛川の道の駅の集客数をもとに設定している。

集客についての明確な手法については示されていないが、ETC2.0システム関連の仕組みを取り入れての集客も考えている。また、焼津方面からの魚介類の取り扱いや地元住民の利用も期待している。

Q マルシェとJA五和支店移転との関係は。

A マルシェの建物はJAが受け持ち、マルシェの経営は出資会社で管理する。

Q 賑わい交流拠点関連で市として箱物をつくる計画はないか。

A 計画は示されていない。

Q 大井川鉄道側としては線路とホームのみに限定し、箱物は市で負担と考えているのではないか。疑問点は曖昧にしないで目標値などハッキリ追及なり、研究するなり資料請求するなりして検討してもらいたい。

A レストランなど賑わい交流拠点に付随する施設について、前社長には期待していたが大井川鉄道側がお金を出せる状況ではないとのこと。今後の新社長との話し合いの結果を受けて、一般質問に含めたいと考えている。

Q 実施設計の発注はどこで、総事業費はいくらか。

A 公表されていないが、プランニングは市、建物についてはJAが取り組んでいると思われる。総事業費についても示されていないが、小耳にはさんだ話では30

億円程度と聞く。

- Q 道路整備が始まっている状況で四者の協力がうまくいかなかった場合に、市の負担を心配している。費用対効果をどう考えているか。
- A 賑わい交流拠点については土地開発公社が買い上げ、造成後運営会社に売買する。四者協力が必要だが、市が中心となっていかなければと考えている。四者協力がなし崩しとならないよう母体をしっかり作っていきたいと考えている。
- Q マルシェに関する話はどこから出ているのか。コンセプトはなにか。議会と市側の情報交換が欠けているのではないか。
- A 賑わい交流拠点については、昨年1月4日に初めて聞いた。話し合いの機会を多く持ち、前向きな議論をしたいと考えている。

(意見としての発言)

- ・住民の意見と議員の意見が衝突した場合は、住民の意見も大切だが選ばれた議員であるから住民ファーストでなく議員ファーストで良いのではないか。
- ・この事業の一連の話を聞いて議員は疑問に感じないのか。最初に別会社を作って4者が本気で取り組むのか、地域に貢献しようとする気があるのか疑問であり地域の人たちに迷惑がかかる。現状は雲の上の話であり、今までの討論は時間の無駄・税金の無駄である。
- ・誰が全責任を取るのかが明確でなく不安である。JA懇談会でも混乱しているようであり、議員として危機感を持って取り組んでほしい。
- ・大井川鉄道の前社長は新駅を作ると明言されていたが、社長交代に伴い新社長が継続していくのか不安がある。
- ・時間的余裕がない中、夢の持てるようなしっかりしたものにしてほしい。

テーマ2 その他、金谷地域についての自由な意見交換

- Q 国と関わる案件についての意見(声)を市民から聴いて、各議員はどのように対処しているか。
- A 参加した各議員から個々の対応等について発言があった。議員個人の対応であるため報告は省略する。
- Q 議会報告会が始まったことには意味がある。議会と語る会も良いが後援会活動ではないのか。また、次回はどのような形で実施するのか。
- A 今回はテーマを絞り地区の課題について皆様から意見を伺う公聴会と考えている。今後の実施方法については、議会として検証してから決めていく。
- Q 議員と市側との関係に透明性が必要ではないか。
- A 当局に対して発信していく。
- Q 議会と語る会の審議・要望等を反映する場所があるか。インターネットで公開するのか。
- A 意見等については、担当の常任委員会で検討する。また、議会運営委員会の中で要望書を議長から提出することも考えている。なお、報告書はインターネットで公開する。

Q 旧金谷庁舎の今後の見通しについて

A 利活用については審議会で意見書が出て普通財産となる。時期は未定だが、民間力を活用して福祉的エリアとしていく。

(意見としての発言)

- ・地域のバス運行について本数を増やしてほしい。
- ・直営での運営を望む、税金を市民の為に使ってほしい。

6 その他

(1) 周知方法について（会場ごとにどのような工夫をしたか）

- ・自治会連合会(金谷地区)に各町内会への回覧にての広報を依頼した
- ・議員四名は各自の関係者へ個別にチラシ配布し参加を依頼した

7 まとめ（所見）

質問や意見は多く出されていたが若手の参加者からの発言が無かったので残念であった。

今回テーマとしたインター周辺の開発については地元住民の関心はあると思うが不確定・不明確な点が多く、現状での満足な話ができなく不安をより募らせてしまった感がある。

早期に住民の皆さんにお知らせできるようにしていきたいと考える。